

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37006
学校名：西陵中学校

改訂のポイント

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒の学びを育てる授業改善のための研修の充実
- 「課題探究的な学習」の実践と検証、改善へ向けての具体的な取組の充実

項目名 項目内容

項目内容の具体

目標

「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像

- ☆自ら学ぶ方法と人と学び合う力を身に付け、目標を持って学ぼうとする子ども
- ☆難しいことにも進んで挑戦する意欲と、様々な知識を理解し習得・活用する力を持った子ども
- ☆新たな目標を持ち、自ら生活をコントロールして学習に取り組む子ども

※札幌市「5つのポイントから

「学ぶ力」に関する成果や課題

学ぶ意欲

【昨年度の具体的な取組】

- 興味関心を喚起する体験的授業の工夫
- 学習成果が実感できる評価の工夫

【成果】

⇒生徒の学校評価アンケートの「学習への意欲」や「興味・関心」に関わる項目は肯定的回答が85%前後、「共通指標」の「繰り返し学習する」などの項目は65%前後である。

【課題】

◇授業への意欲・関心は高いが、「計画的学習」の肯定的回答が45%「学びの方法」が75%と、自ら学ぶ力の向上が課題である。

思考力・判断力・表現力等

【昨年度の具体的な取組】

- 表現・発言の力を育てる授業の工夫
- 様々な場面での学び合い活動の実践

【成果】

⇒「共通指標」では、「考えをはっきりさせる」「発言前に考える」などは肯定的回答が75%前後だったが、「進んで発言する」は43%と低い。学校評価アンケートも同傾向である。

【課題】

◇自分自身の考えを持つことへの姿勢はあるが、それを互いに発信する力は育っていない。具体的な授業場面の工夫が課題である。

基礎的・基本的な知識及び技能

【昨年度の具体的な取組】

- 少人数指導による生徒個々への指導
- 家庭学習定着のための適切な課題提示

【成果】

⇒全国学力・学習状況調査は各教科各領域において共に全国平均かそれを上回る結果であった。また、生徒アンケートでは、計画的な学習習慣の定着が乏しい状況が見られる。

【課題】

◇基礎学力の定着には、学年・教科・生徒個々の差異が大きい。全体としての底上げのための授業改善や、学習方法・習慣の指導が課題である。

今年度の具体的な改善策（取組）

取組の最重点

【取組の共有】

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善と実践・検証を通し、生徒一人一人の豊かな学びを保证する

具体的な改善策（取組）

- 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の各視点に立った授業づくりの工夫と、その実践と適切な検証・改善
- 「課題探究的な学習」を実現する授業実践・検証・改善の充実とそのための研修の推進
- 生徒の自律的な学びを支える学習課題・目標の設定と、学習成果の適切なフィードバック
- 新学習指導要領の新たな3観点に基づいた、生徒一人一人の学習成果への適切な評価とその分析
- 校内研修会の推進・個人研修の推進、研修資料の適切な提示

検証の方法

各種調査や子どもの自己評価指標の活用

- 各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）
- 全国学力・学習状況調査、TSPテスト、学校評価アンケートの調査結果等を活用
- 札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用